

スラッジ情報及び偽・誤情報に対応に 資する取組について

～偽・誤情報、スラッジ対策は、情報提供する側で対応可能か検討する～

2024年11月6日

情報民主主義は可能か？

- フィッシングをはじめとして、ネット上には限りなくユーザをだまして金銭を奪取しようとするサイトが無数にある。
- 偽・誤情報も限りなく存在し、通常時はまだしも、緊急時などに偽情報などによって救急隊が出動するなど、今までには考えられなかったような弊害まで生んでいる。
- このままでは、ネット上における各種活動が信用できず、負のスパイラルに陥る可能性もある。
 - 特にe-コマースにおいては、深刻な影響を及ぼすのではないかとと思われる。
- これらスラッジ情報、偽・誤情報に対応する方策を現行法や制度、また新たな対応策について、情報交換し今後の可能性について検討する。